**「MFA サッカー活動の再開に向けたガイドライン」**

第 1 版（2020 年6月１３日作成）



**一般社団法人町田サッカー協会**

**「MFA サッカー活動の再開に向けたガイドライン」について**

**ガイドライン策定の基本方針**

　　本ガイドラインの策定にあたっては以下の項目を基本方針として掲げました。

1. 東京都新型コロナウイルス感染症を乗り越えるためのロードマップ及びJFAサッカー活動の再開に向けたガイドラインに沿って作成する。
2. 安全最優先 生命・健康の安全を最優先とし、感染拡大のリスクを最大限に排除した、選手・チーム、指導者、 審判、運営スタッフ、それらの方のご家族等サッカーファミリー全体が安全に活動できる環境を提供する。
3. 不当な扱い・差別等の禁止 地域の感染状況で生じる活動差をもって選手やチームを不当に扱うことはなく、感染状況に起因する一切の差別や誹謗・中傷の発生を許容しない。
4. リスペクト 関わる全ての方を大切に思い、困難な状況にあるサッカーファミリーに手を差し伸べ、笑顔あふれるサッカー環境を再構築すべく全力を尽くす。
5. 「新しい日常」・「新しい生活様式」への適応 Before コロナの「日常」が即座に戻ることは無いということを前提に、置かれた状況の正確な分析・ 理解に基づくガイドラインを設計する。
6. サッカー界の抜本的見直し 今回のコロナ禍を契機とし、組織の在り方や個別事業の設計について抜本的な見直しを図る（リスクとチャンス）

**具体的なサッカー活動再開に向けて**

1. 各クラブ

各クラブにおいて、活動感染を最大限に防ぎながら活動再開に向けて準備でき次第、順次活動を再開する。

MFAサッカーファミリーの運動機会の確保およびサッカーが持つ活力の確保に努める。

クラブ員の安全を第一に、発熱等の症状がある人には参加を控えるよう事前に告知し実施する。

1. MFA主催大会及びリーグ戦等

６月中については、主催大会及びリーグ戦等については、自粛する。

７月以降については、感染状況や各カテゴリーの状況により判断する。

1. 会議等

不要不急の会議については、中止もしくは延期し、必要がある場合は、全てのドア及び窓を開け、３つの密が発生する環境を阻止し、出席者にマスクの着用や事前に検温等健康状態の確認を通知し、開催する。

また、オンラインや文書等での開催についても検討する。

1. その他

感染状況等を確認し、随時情報共有し、ガイドラインを修正する。

**じっくりと時間をかけて段階的に必要な体力を戻しましょう。**

**** 各自コンディショニングのチェック。まずはサッカーのできるコンディ

　　　　　　　　　ションを整え、段階的な対人プレーを加えていきましょう。

　　　　　　　　　また、以下の留意点に気を付けましょう。

1. 再開のステップ位置を遵守し、安心安全を確認しながら段階的に進める。拙速に急がない。
2. 練習場へのアクセス方法の検討。安全な移動手段。
3. 練習場への入場方法（荷物置場、着替え場所等での、ソーシャルディスタンスの確認） 更衣室の利用は対策や注意が必要。
4. 手指が消毒/うがいができる設備（水道）の確保や除菌剤（液、シート等）の持参、履行。
5. 再開ステップを遵守した練習内容（時間、強度、要素、対人接触の有無）の適用。 参加者同士の十分な距離（２m以上）の確保。呼気の影響を受けない配置。大声を控える。
6. 熱中症対策も併せて考慮する。
7. 備品は必要低限の利用にとどめ、使い回しを控え、利用後は充分な水洗い（除菌）を行う。
8. 安全な飲水方法、食事（補食）の運用。
9. ミーティング時での３つの密を同時に回避する。
10. 観戦者、送迎者の安全な誘導および距離（２m以上）の確保。